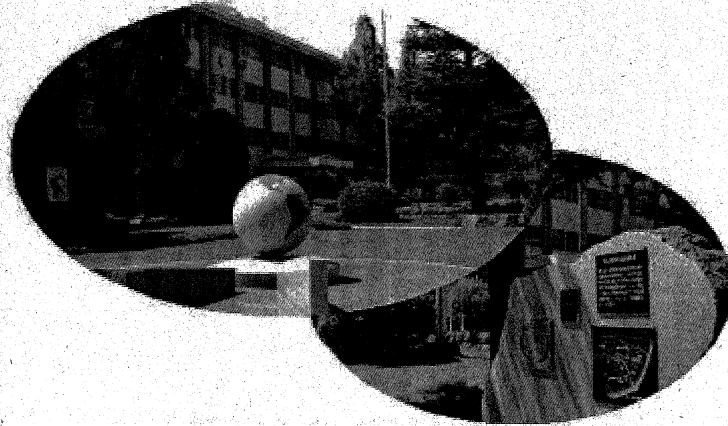


令和5年度

年間学習計画
【シラバス】



食品サイエンス科2年

令和5年度「言語文化」(2単位)年間指導・評価計画

授業担当等	食品サイエンス科2年	使用教科書	「新編言語文化」(東京書籍)
-------	------------	-------	----------------

教科・科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に把握し効果的に表現する資質、能力を育成することを目指す。
 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

月	単元名・時数	育成する資質・能力	知識技能 [学習指導要領との対応]	思考・判断・表現[学習指導要領との対応]			主体的に学習に取り組み態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
				A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと				
4	読む さくらさくら P10,2時間	4	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。			(1)「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	通んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	①叙述の点検②行動の分析③叙述の分析	1桜に対するイメージや筆者について知っていることを発表する。 2本文を通読し、三つの部分に分けて、それぞれの話題をまとめる。(手引き1)	教科書、ノート、ワークシート、タブレット
5	●体育祭 読む 児のそら寝 P122 古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い P124,2時間	6	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。			(1)「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	通んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って読話のおもしろさを読み取ろうとしている。	①叙述の点検②行動の分析③叙述の分析	・歴史的仮名遣いについて理解し、読話のおもしろさを読み取る。1本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。(手引き1)古文学習のしるべ1) 2児の気持ちの変化を整理し、最後の指字の意味について考える。(手引き2・3)	教科書、ノート、ワークシート、タブレット
6	5月の続き ★考查	4								
7	読む デューク P107,2時間	4	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。			(1)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	通んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注目して語の展開を捉えようとしている。	①叙述の点検②行動の分析③叙述の分析	「私」のデュークに対する気持ちを読み取る。(手引き2) 3「私」が「少年」と出会った経緯を整理し、「フォーヒーをごちそうさせて。」と言った「私」の気持ちについて考える。(手引き3) 4「少年」と通じた「私」の成長と気持ちの変化を読み取る。(手引き4) 5「少年」が去った後もそこから動けなかった「私」の気持ちについて考える。(手引き5)	教科書、ノート、ワークシート、タブレット
9	7月の続き ★考查	8								
10	読む 柳あめをめる【短歌】 P50 短歌の読み方 P53,1時間	6	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。			(1)「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 (2)「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	通んで短歌の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌にこめられた情景や心情を読み取ろうとしている。	①叙述の点検②行動の分析③叙述の分析		教科書、ノート、ワークシート、タブレット
11	●職業祭 書く 【言語】短歌を作る P167,2時間 ★考查	4	・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現技法とその効果について理解している。	(1)「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。		通んで短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し、学習課題に沿って、自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って効果的に書こうとしている。	①叙述の点検②行動の分析③叙述の分析		自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。	教科書、ノート、ワークシート、タブレット
12	11月の続き ●最高百音かるた大会	6								
1	読む 訓読の基本 P210 【言語】漢字の読みと意味——漢和辞典を活用しよう P218,2時間	6	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。			(1)「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	通んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見直しを持って、古典を学ぶ意味について考えを述べようとしている。	①叙述の点検②行動の分析③叙述の分析	・漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について理解する。□中学校で学習した漢詩「雑詠」故事成語を発表し、高校での漢文学習への意識付けを促す。 □「訓読」の導入文を読み、漢文とは日本語と言語構成が異なるものであり、その漢文を日本語として読む工夫が「訓読」であることを理解する。	教科書、ノート、ワークシート、タブレット
2	読む 故事成語一三編【言語】 P220	3	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。			(1)作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	①叙述の点検②行動の分析③叙述の分析	□中学校で学習した故事成語について、意味や背景等を発表し合い、その学習を通じて得たものを再確認する。 □知っている「故事成語」を答えさせ、その背景となる「寓話」を図説集等を駆使してグループ等で調べさせる。	教科書、ノート、ワークシート、タブレット
3	書く 【言語】『三国志』の英雄ポスターを作る P254 1時間	3	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	(1)「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを効果的に表現したいことを明確にしている。		通んで調べた情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わるポスターを作ろうとしている。	①叙述の点検②行動の分析③叙述の分析	好きな人物を選び、調べた情報を的確に整理して、人物像が伝わるポスターを作る。□取り上げる人物を決めて、その人物についてのエピソードや評価などを調べ(課題2) □調べた情報を整理し、キャッチフレーズを考えるなどで、ポスターにまとめる。(課題3) □ポスターを読み合い、気づいたことを伝え合う。(課題4)	教科書、ノート、ワークシート、タブレット	

令和5年度 「公共」 年間指導・評価計画	学年 2年	使用教科書	補助教材
	食品サイエンス科	公共 (実教出版)	なし

学習の目標

○倫理分野	社会に参画する際に、選択・判断するための手がかりとなる見方・考え方を思考実験などを通じて、多角的・多面的に考察する。
○政治・経済・国際分野	「第1部公共の扉」で身につけた見方・考え方を活用して、法・政治及び経済に関する課題の解決策を考察する。また他者と協働して追求したり解決したりする。
○探求学習	地球環境問題など現代社会の諸課題を把握したうえで、その課題の解決に向けた合意の形成をめざし、協働的に考察・構想し、自らの考えを説明したり論述する。

指導計画及び評価方法等

月	学習項目	学習活動	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習にとりくむ態度
4 5 6 7	第1部 倫理・政治 第1章社会を作る私たち 第2章人間としてよく生きる 第3章他者とともに生きる 第4章民主社会の倫理 第5章民主国家の基本原則	・人間としての在り方生き方について理解させる。	知識・技能 小テスト、定期考査 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。	思考・判断・表現 定期考査、レポート、ノート ・他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し表現している。	主体的に学習にとりくむ態度 活動の様子の観察、レポート、口頭発表など ・社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。
9 10 11 12	第2部 1 憲法・政治・経済 第1章日本国憲法の基本原理 第2章日本の政治機構と政治参加 第2部 2 経済 第1章現代の経済社会 第2章経済の特質と国民生活	・日本国憲法の成立過程や基本原理、社会が変化するなかで重視されるようになったさまざまな権利の内容を理解させる。 ・労働問題等今日の課題を考察させる。	小テスト、定期考査 ・日本国憲法の基本原理について理解している。	定期考査、レポート、ノート ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し解決に向けて考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現している。	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など ・日本の政治機構について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
1 2 3	第2部 3 国際社会 第1、2章国際経済の課題 第3部 持続可能な社会づくり	・この科目のまとめとして社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、第1部及び第2部で扱った課題などへの関心を一層高める。	小テスト、定期考査 ・それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し読み取り、まとめることができる。	定期考査、レポート、ノート ・それぞれが選択した現実社会の諸課題について問いを見だし、協働的に考察・構想している。	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など ・それぞれが選択した現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

【シラバス】年間指導・評価計画	学 科	単位数	使用教科書	使用副教材
長崎県立島原農業高等学校 令和5年度 2年 数学A	食品サイエンス科2年	3	最新 数学I (数研出版) 最新 数学A (数研出版)	パラレルノート数学I+A (数研出版)

1 科目の目標と評価の観点

目 標	数学I 図形と計量の知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
	数学A 図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
評価の観点	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度
数学I	図形と計量についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
数学A	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。

2 学習計画と観点別評価標準 *以下、履修月はあくまでも目安である。

数学I 第4章 図形と計量

学習内容(配当時間)	時数	学習のねらい	観点別評価標準		
			知識・技能 【評価方法】定期考査、小テスト、模擬テスト、パラレルノート	思考力・判断力・表現力 【評価方法】定期考査、小テスト、模擬テスト	主体的に学習に取り組む態度 【評価方法】行動観察、課題提出
第1節 1. 鋭角の三角比	2	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	○三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解している。 ○直角三角形において、 $\sin A$ 、 $\cos A$ 、 $\tan A$ の値を求めることができる。 ○三角比の表を用いて、三角比の値や角を調べることができる。	○三角比の値が角の大きさによって定まることを理解している。	
2. 三角比の利用	1		○三角比を使って、距離や高さを求めることができる。	○直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見ることができる。	○直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見ることができる。
3. 三角比の相互関係	2		○三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求めることができる。 ○ $90^\circ - A$ の三角比の公式を利用できる。	○ $\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$ を三平方の定理として、とらえることができる。	○三角比の相互関係を調べようとする。
4. 三角比の拡張	3	図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりするなどを培う。	○鈍角の三角比の値を求めることができる。 ○鈍角も含めて三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求めることができる。 ○ $180^\circ - \theta$ の公式を利用できる。	○座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解している。	○三角比の相互関係が鈍角のときも成り立つことを調べようとする。
5. 三角比が与えられたときの角、研究	2		○座標を用いて、 θ の三角比の値から θ を求めることができる。	○直線の傾きと正接の関係を考察することができる。	○三角比が与えられたときに θ を求める際、図を積極的に利用しようとする。
第2節 6. 正弦定理	2	図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりするなどを培う。	○正弦定理における $A=B=C=D$ の関係式を適切に処理できる。 ○正弦定理を用いて三角形の外接円の半径や辺の長さを求めることができる。		○正弦定理の図形的意味を考察する。
7. 余弦定理	3		○余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。		○余弦定理の図形的意味を考察する。
8. 三角形の面積	2		○2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。 ○3辺の長さが与えられた三角形の面積を求めることができる。	○三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。	
9. 図形の計量	2		○四角形を対角線で2つの三角形に分割して、面積を求めることができる。 ○正弦定理や余弦定理を用いて、測量問題が解決できる。	○正弦定理や余弦定理を用いて、測量問題が解決できる。	○日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。
発展	2		○ヘロンの公式を使って、三角形の面積を求めることができる。		

数学A 第1章 場合の数と確率

学習内容(配当時間)	時数	学習のねらい	観点別評価標準		
			知識・技能 【評価方法】定期考査、小テスト	思考力・判断力・表現力 【評価方法】定期考査、課題提出	主体的に学習に取り組む態度 【評価方法】定期考査、授業態度
1. 集合	1	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○要素を書き並べて表して、集合の要素の個数を求めることができる。 ○集合をそれぞれの場合に適した形で表すことができる。 ○共通部分、和集合、補集合を求めることができる。	○集合をそれぞれの場合に適した形で表すことができる。	○日常語の「かつ」「または」「…でない」との関係を認識しようとする。
2. 集合の要素の個数	2		○要素を書き並べて表して、集合の要素の個数を求めることができる。 ○和集合の要素の個数の公式を用いることができる。 ○補集合の要素の個数の公式を用いることができる。 ○日常的な事象に対して集合を考え、人数などを求めることができる。	○ベン図を利用して集合を図示することで、要素の個数を考察することができる。	○集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとする。
3. 樹形図、和の法則、積の法則	3	場合の数を、もれなく重複なく数える手段として、樹形図が有用であることを理解している。 ○樹形図や和の法則、積の法則を用いることができる。	○場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 ○自然数の正の約数の個数を数える方法を考察することができる。	○1つの原則を決めて、樹形図などを利用して、もれなく重複することなく数えようとする。 ○正の約数の個数を数えることに興味をもつ。	
4. 順列	3		○順列の用語、記号、公式を理解し、利用できる。 ○具体的な問題を通して、どのような場合に順列の考え方が適用できる。	○積の法則から順列の公式を考察することができる。	

			るかを見極めることができる。	○具体的な問題を通して、どのような場合に順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。		
5. 円順列と重複順列	3	10	○円順列の用語、公式を理解し、利用できる。 ○重複順列の用語、公式を理解し、利用できる。	○既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができる。 ○具体的な問題を通して、どのような場合に円順列、重複順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。	○順列、円順列、重複順列の違いに興味・関心をもつ。	
6. 組合せ	5		○組合せの用語、記号、公式を理解し、利用できる。 ○組分けの問題を処理できる。 ○同じものを含む順列の総数を求めることができる。	○順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。 ○特殊な条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○同じものを含む順列を、組合せで考察することができる。	○組合せの考え方を利用して、図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。	
第2節 確率		11	7. 確率の意味	1	○確率の意味を理解している。	○身近な試行によって起こる事象と関連づけながら、実験などを通じて確率に興味・関心をもつ。
8. 確率の計算	2		○事象を集合で表すことができる。 ○試行や事象の定義を理解している。 ○確率の定義に基づき、事象の確率を求めることができる。	○試行の結果を事象としてとらえ、事象を既知の集合と結びつけて考えることができる。 ○不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに数量的にとらえることができる。		
9. 確率の基本性質	2		○積事象、和事象の意味を理解し、具体的な事象に対して、積事象、和事象を集合で表すことができる。 ○事象の排反の意味を理解し、2つの事象が排反であるかを判断できる。		○和事象、積事象、排反、空事象、確率の基本性質を集合と関連づけて考察しようとする。	
10. 和事象の確率	2		○確率の加法定理を用いて、確率を求めることができる。 ○一般の和事象の確率を求めることができる。		○一般の和事象の確率を集合と関連づけて考察しようとする。	
11. 余事象の確率	2		○余事象の確率の公式を利用して、確率を求めることができる。	○補集合をもとに、余事象を考察することができる。		
12. 独立な試行の確率	1		○独立な試行の意味を理解している。 ○独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。	○2つの独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考察することができる。	○独立な試行の確率について、興味をもって調べようとする。	
13. 反復試行の確率	2		○反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。	○反復試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。	○具体的事象について、反復試行の確率を、興味をもって調べようとする。	
14. 条件付き確率	3	○条件付き確率の定義、意味を理解している。 ○条件付き確率を、公式を用いて求めることができる。 ○確率の乗法定理を用いて、確率を求めることができる。		○くじ引きの確率が引く順番に関係なく等しくなることに興味をもつ。		

15. 期待値	1		○期待値の定義を理解し、確率の性質などに基づいて期待値を求めることができる。		
---------	---	--	--	--	--

学習内容(配当時間)		時数	月	学習のねらい	観点別評価基準		
				知識・技能 【評価方法】定期考査、小テスト	思考力・判断力・表現力 【評価方法】定期考査、課題提出	主体的に学習に取り組む態度 【評価方法】定期考査、授業態度	
第1節 角の性質	1. 角の二等分線と比	3	12	○三角形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○平行線の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。 ○線分の内分と外分を理解し、内分する点と外分する点を図示することができる。 ○三角形の内角・外角の二等分線と比の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。	○証明する際に、適当な補助線を引いて考察することができる。	○線分を分ける点や、三角形の角の二等分線と比について調べようとする態度がある。
	2. 三角形の外心、内心、重心	3		○外心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。 ○内心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。 ○重心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。	○図形の性質を証明するのに、間接的な証明法である同一法を適用することができる。	○三角形の3本の垂直二等分線が1点で交わることの証明方法に関心をもつ。 ○三角形の3つの角の二等分線が1点で交わることの証明方法に関心をもつ。 ○三角形の3本の中線が1点で交わることの証明方法に関心をもつ。	
	3. チェバの定理・メネラウスの定理、研究	3	1	○三角形の面積と線分の比の性質を理解している。 ○チェバの定理を用いて、線分比を求めることができる。 ○メネラウスの定理を用いて、線分比を求めることができる。	○チェバの定理、メネラウスの定理について、論理的に考察し、証明することができる。 ○三角形の辺と角の大小関係や、三角形の存在条件を理解している。	○チェバの定理の証明方法に関心をもつ。 ○メネラウスの定理の証明方法に関心をもつ。 ○身近な問題に対し、チェバの定理を活用できることを理解し、図形の性質に興味・関心をもつ。 ○三角形の辺と角の大小関係という、自明に見える事実でも、論理的に考察しようとする。	
第2節 円の性質	4. 円周角の定理	1	2	○円の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○中学校で学んだ円周角の定理やその逆について理解している。 ○円周角の定理を用いて、角の大きさを求めることができる。 ○円周角の定理の逆を用いて、4点が同一円周上にあることを調べることができる。		
	5. 円に内接する四角形	2		○円に内接する四角形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。 ○四角形が円に内接するかどうかを判定できる。	○三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を理解する。	○三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を考察しようとする。	

質					
6. 円と接線	2	3	○円の接線の性質を用いて、辺や線分の長さを求めることができる。	○円と直線の位置関係に3つの場合があることを理解している。	
7. 接線と弦の作る角	2		○接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。	○接線と弦の作る角についての定理の証明方法を理解する。	○接線と弦の作る角についての定理を証明する際に、鋭角の場合と鈍角の場合に分けて考察しようとする。
8. 方べきの定理	2		○方べきの定理を用いて、線分の長さを求めることができる。	○方べきの定理の証明方法を理解する。	○方べきの定理は、円周角の定理や円に内接する四角形の性質などを用いて証明されることに関心をもつ。
9. 2つの円	2		○2円の位置関係に5つの場合があることを理解している。 ○2円の共通接線について理解し、その長さを求めることができる。	○2円の位置関係を、動的な面から観察することができる。	○2つの円の位置関係の判定条件として、中心間の距離と半径の関係について、積極的に考察しようとする。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2単位
学科	食品サイエンス科		学年	第2学年	
教科書	新編化学基礎(東京書籍)		副教材等	なし	

1. 学習の目標

- (1) 物事を理論的に考える力を養います。
- (2) 化学的に探究する能力を養います。
- (3) 日常生活との関連性を理解します。

2. 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい	評価の項目		
				知識技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学期	4	1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か	・化学と物質について、化学の特徴を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・表現生活の中には多くの物質があり、化学変化を利用していることを理解している。	・物質の性質をもとに、分離の方法を考えることができる。	・身のまわりの物や製品について、友達と話し合いながらそれらはどんな物質でできているという視点で考えようとしている。
	5	2章 物質の成分と構成元素	・化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・混合物から純物質を分離する方法を理解している。 ・炎色反応や沈殿の生成で、元素の種類を確認できることを理解している。 ・状態変化には粒子の熱運動が関係していることを理解している。	・色素を分離する実験で、色素のどのような性質によって分離されたかを科学的に考察している。 ・炎色反応についての実験を行い、元素の種類を推測するなど科学的に考察しようとしている。	・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
	6	2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表	・物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解している。 ・原子番号1~20までの典型元素の電子配置を理解している。 ・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族と周期との関係について理解している。	・放射性同位体同位体について、どのように使われているという視点で考えようとしている。 ・アルカリ金属の性質を観察し、同族元素との関係性を表現する。 ・元素の周期律について規則性を見いだして表現している。	・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
第2学期	9	2編 物質の構成 2章 化学結合	・物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・イオンの生成や共有結合を電子配置と関連付けて理解している。 ・イオン結合およびイオン結合でできた物質及び分子でできた物質の性質を理解している。 ・金属の性質及び金属結合を理解している。	・金属とその用途について、友達と話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。 ・化学結合と物質の分類について、友達と話し合いながら規則性や関係性を解釈して表現しようという視点で考えようとしている。	・イオン結晶についての実験を行い、イオン結晶やイオンの性質について考察しようとしている。 ・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
	10	3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式	・物質と化学反応式についての実験などを通して、物質と化学反応式のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・相対質量と原子量について理解している。 ・物質と粒子、質量、気体の体積の関係について理解している。 ・濃度について理解している。 ・化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解している。	・物質と粒子、質量、気体の体積について観察を行い、得られた結果を分析できる。 ・実験結果から反応物と生成物の比を求めさせ、化学反応式の係数の比と比較させることを通して、物質の比が化学反応式の比を表していることを見いだした活動を行っている。	・化学反応における量的関係についての実験を行い、化学反応式の係数が物質の比を表していることを見出そうとしている。 ・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
	11	2章 酸と塩基	・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・酸と塩基の性質及び定義を理解している。 ・水溶液の酸性・塩基性は、水素イオン濃度やpHで表せることを理解している。 ・酸と塩基が完全に中和するときの化学反応式及び中和反応に関与する物質の量的関係について理解している。	・酸と塩基の強弱と電離度の関係性を予想し、実験などを通じて関係性を見だし表現できる。 ・器具の扱い方や溶液の調製方法など中和滴定操作における基本的な技術を習得するとともに、実験などを通じて結果を分析し解釈することができる。	・中和滴定の実験を行い、食酢の濃度を正確に調べるために、正しく器具を使い、科学的に考察しようとしている。 ・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
第3学期	1	3章 酸化還元反応	・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・酸化と還元が電子の授受によることを理解している。	・酸化還元滴定操作における基本的な技術を習得するとともに、実験などを通じて結果を分析し解釈することができる。	・酸化剤と還元剤の反応を調べる実験を行い、それぞれの結果を化学反応式で表すなど、科学的に考察を行おうとしている。
	2			・金属のイオン化傾向について理解している。	・電池について構造とその用途について、友達と話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。	・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
	3			・電池の構造やしくみ及び金属の製錬について理解している。		

授業担当等	食品サイエンス科2年	使用教科書	大修館書店 現代高等保健体育(保体701)
-------	------------	-------	--------------------------

教科・科目の目標

- (1) 合理的・計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの技能を身に付けるようにする。
 (2) 豊かに運動を継続するための課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
 (3) 競争や協働の経験を通して、公正・協力・責任・参画などの力に加え、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全の確保や運動に生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

項目名	時間	知識・技能	評価方法	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育					
1	2	・学校での集団生活や授業について理解する。 ・公正、協力、責任、参画と意欲や態度の大切さを理解する。	①健康・安全の確保のための準備物(用具や服装)の点検	・あいさつ、返事や返答、聞く態度など多様な伝える力を表現する。	・準備物などの管理ができる。
2	8	・学校生活に必要な体力や態度について理解する。 ・協働の楽しさや喜びを深くあじわう。 ・課題の動きを理解し正しくからだを動かす。 ・相手の動きに応じた基本動作から得意動作や連絡技、変化技を用いて攻防を展開する。 ・相手の構えを崩す素早い仕掛けやタイミングをずらした攻防を個人や仲間との連携でつくる。	②公正・協力・責任・参画について行動の分析	・グループ内でどこに重点を置き練習を進めるかなど合理的かつ計画的な実践をする。 ・自己や仲間の考えたことを伝える。 ・一人ひとりが自分の役割を理解・判断し、責任ある行動をする。 ・互いを助け合い高めようとする。	・個人や仲間との練習を通して試技回数を重ねながら意欲的に活動する。 ・学習内容に対して正しいフォームや位置取りなどを意識しながら取り組む。 ・コミュニケーションを学ぶ場ということを理解して、意欲的に他者と関わる。 ・わからない動作や説明に対して、教師や仲間へ質問したり調べるなど意欲的に活動する。 ・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。
3	8	選択E 以下の領域・種目より1選択 ・武道(柔道) ・球技 (ネット型:バドミントン/ゴール型:バスケットボール サッカー)	③活動時の技能(授業での知識を理解した技能の分析) ④発言や記述の分析 ⑤聞く時の態度 ⑥活動時の態度	・公正の中で自身の役割を判断し、行動したり提案したりする。 ・自分や仲間の考えていることを伝える。 ・自分や仲間の長所を生かすためにコミュニケーションを図ったり作戦を立てたりしたことを実践する。 ・用具の準備片付けをより迅速に行うよう協力して合理的に活動する。 ・安全に留意した練習エリアの活用と合理的、計画的な時間設定を判断し活動する。 ・危険を予測しながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保する。	
4	2	・自身の体力測定結果を把握し、補強運動での計画的な体力の高め方を理解する。 ・スポーツの変遷や文化としてのスポーツについて自分の言葉や文章で説明する。			
5	10	・種目の特徴を理解してエリア内の人数の優位を考えた作戦などを用いた攻防を展開する。 ・基本動作から変化技など生涯にわたって運動を楽しむために多様な技の学習に挑戦する。 ・相手の構えを崩す素早い仕掛けやタイミングをずらした攻防を個人や仲間との連携でつくる。		・公正の中で自身の役割を判断し、行動したり提案したりする。 ・自分や仲間の考えていることを伝える。 ・自分や仲間の長所を生かすためにコミュニケーションを図ったり作戦を立てたりしたことを実践する。 ・用具の準備片付けをより迅速に行うよう協力して合理的に活動する。 ・安全に留意した練習エリアの活用と合理的、計画的な時間設定を判断し活動する。 ・危険を予測しながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保する。	
6	2	・オリンピックとパラリンピックの意義やスポーツイベントと経済について自分の言葉や文章で説明する。			
7	14	・相手の動きに応じた基本動作から得意動作や連絡技、変化技を用いて攻防を展開する。 ・相手の構えを崩す素早い仕掛けやタイミングをずらした攻防を個人や仲間との連携でつくる。 ・球技においても、わが国固有の文化である武道の相手を尊重する姿勢を重んじ、礼法を学ぶ中で人間形成に役立つことを理解する。			
体育					
8	2	・課題や具体例をあげて学習内容を説明する。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいか説明する。	①健康・安全の確保のための準備物(用具や服装)の点検	・公正の中で自身の役割を判断し、行動したり提案したりする。 ・自分や仲間の考えていることを伝える。 ・自分や仲間の長所を生かすためにコミュニケーションを図ったり作戦を立てたりしたことを実践する。 ・用具の準備片付けをより迅速に行うよう協力して合理的に活動する。 ・安全に留意した練習エリアの活用と合理的、計画的な時間設定を判断し活動する。 ・危険を予測しながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保する。	
9	10	・腕振りや力みのないフォームの習得で技能が高まるだけでなく、生涯にわたって運動に親しむ力が育まれることを理解する。 ・呼吸法やピッチ、ストライドを生かし自分のペースを維持して走る。 ・1周ごとのラップを分析し、自身の記録を伸ばす合理的な練習方法を考察し挑戦する。 ・自分のペースの変化や仲間のペースに合わせて走法の切り替える。	②公正・協力・責任・参画について行動の分析 ③活動時の技能(授業での知識を理解した技能の分析) ④発言や記述の分析 ⑤聞く時の態度 ⑥活動時の態度		
10	12	・基本的な技や発展技から構成した演舞を短い時間で創作する。 ・決められた時間数で演舞を作り上げる中で合理的で計画的な方法をクラス内で協働し築きあげる。 ・役割分担をして、任された仕事を責任をもって行う。 ・決まったタイミングに合わせて、体をお手本通りに止めたり動かしたりする。 ・基本的な技や発展技の達成を通して運動の楽しさや喜びを深く味わう。 ・する見る調べる支えるの運動の関わり方の中での運営の部分を意識して活動する。			

授業担当等	食品サイエンス科2年	使用教科書	大修館書店 現代高等保健体育(保体701)
-------	------------	-------	--------------------------

教科・科目の目標

(1)ライフステージと健康の関連について学ぶことでそれぞれが命の大切さを学ぶとともに各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。
 (2)健康を支える環境づくりについて学び、環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。

項目名	時間	知識・技能	評価方法	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態
保健編 3単元 生涯を通じる健康					
1 ライフステージと健康	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康について理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化、自分の行動責任や異性理解及び尊重する態度、及び性に関する情報等への適切な対処について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題や家族計画の意義や人工妊娠中絶の影響、結婚生活を健康に過ごすため知識や様々な支援、及び保健・医療サービスの活用について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・中高年期と健康における、個人や社会の取り組みについて理解したことを言ったり書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①記述の点検 ②行動の分析 ③記述の分析 ④座学やアクティブラーニング時の態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容について、原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・学習内容について、整理したり関連付けたりして、課題解決の方法に応用している。 ・課題や解決方法を選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 	学習内容について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
2 思春期と健康					
3 性意識と性行動の選択					
4 妊娠・出産と健康					
5 避妊法と人工妊娠中絶					
6 結婚生活と健康					
7 中高年期と健康					
8 働くことと健康	4	<ul style="list-style-type: none"> ・働く人の健康における、個人や社会の取り組みについて理解したことを言ったり書いたりしている。 	同上	同上	同上
9 労働災害と健康					
10 健康的な職業生活					
4					
1 大気汚染と健康	8	<ul style="list-style-type: none"> ・環境と健康にかかわる対策について、理解したことを言ったり、書いたりしている。 	同上	同上	同上
2 水質汚濁、土壌汚染と健康					
3 環境と健康にかかわる対策	3	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道の整備、環境衛生活動について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・食品の安全性と人々の健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。 			
4 ごみの処理と上下水道の整備					
5 食品の安全性					
6 食品衛生にかかわる活動	6	<ul style="list-style-type: none"> ・保健サービス、医療サービス、医薬品の制度、それぞれの活用について理解したことを言ったり書いたりしている。 			
7 保健サービスとその活用					
8 医療サービスとその活用					
9 医療品の制度とその活用	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 			
10 さまざまな保健活動や社会的対策					
11 健康に関する環境づくりと社会参加	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が健康に関心を持ち、環境づくりに積極的に参加していくことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることにについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 			

教科・科目の目標

- (1) 日常的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合うことができる。
- (2) 日常的な話題について、必要な情報を読み取ったり、文章の展開や聞き手の意図を把握することができる。
- (3) 日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。

学期区分	課	知識技能 【定期考査で評価】	思考・判断・表現【英会話力・スピーキングで評価】			主体的に取り組む態度 【小テスト・提出物で評価】	評価の方法
			Speaking	Listening	Writing		
1学期中 間	Get Ready 1~4	be動詞・助動詞が適切に使用できる	自己紹介ができる。	単語の聞き取り	be動詞を適切に使える。	自分の理解の度合いを見極め、質問できるか。	中間考査に代わる30点満点のテスト実施。
1学期期 末	Lesson 1 Okinawa	be動詞・一般動詞の現在形・助動詞が適切に使用できる	自分の行ってみたいところについて話せる。	リスニングテスト Team Teachingの授業内容の理解	動詞の現在形を適切に使える。	行ってみたい場所についてその理由まで考え表現しようとしたか。	中間考査後の範囲で、筆記・リスニングを課したテスト実施。
2学期中 間	Lesson 2 The History of Japanese Food	be動詞・一般動詞の過去形が適切に使用できる	自分の好きな食べ物について話せる。	リスニングテスト Team Teachingの授業内容の理解	動詞の過去形を適切に使える。	自分の好きな食べ物について、その理由まで表現しようとしたか。	7月~9月に学んだ内容で、筆記・リスニングを課したテスト実施。
2学期期 末	Lesson 3 Volunteer Work	不定詞・受動態が適切に使用できる。	英会話力テストの実施。ボランティアについて話せる。	リスニングテスト Team Teachingの授業内容の理解	不定詞・受動態が適切に使える。	してみたいボランティア活動について話し、その理由まで表現しようとしたか。	10月~11月に学んだ内容で、筆記、スピーキング・リスニングを課したテスト実施。
学年末	Lesson 4 Gacha- gacha	SV00・SV0Cの区別ができ、適切に使用できる。	好きなガチャガチャの景品について話せる。	リスニングテスト Team Teachingの授業内容の理解	SV00・SV0Cが適切に使用できる。	ガチャガチャについてあったらうれしいものについて話せ、理由も表現しようとしたか。	12月~2月に学んだ内容で、筆記・リスニングを課したテスト実施。

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位
学級	食品サイエンス科	学年	第2学年	教科書	家庭基礎 (東京書籍)

教科・科目の目標

- 1 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて理解し、それらに係る技能を身に付ける。
- 2 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践や考察に基づいて生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- 3 よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

月	育成する資質・能力		知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法	
	学習内容						
4 1 7 月	1 学期	第1章 生涯を見通す 1 人生を見通す	・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解している。	・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を持ち達成に向けた方法を考えることができる。		・ワークシート ・実験・実習 レポート ・小テスト ・定期テスト	
		第2章 人生をつくる 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会	・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解している。 ・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解している。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解している。		・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとしている。		
		第3章 子どもと共に育つ 1 命を育む 2 子どもを育つ方を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ	・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解している。 ・子どもが発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解している。 ・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解している。 ・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解している。	・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解している。 ・子どもが健康・快適・安全に育つ社会をどのように実現すればよいか、考えている。	・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解し、子どもが健康や安全に育つ社会をどのように実現すればよいか、考えている。	・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解し、子どもが健康や安全に育つ社会をどのように実現すればよいか、考えている。	
		第4章 超高齢社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの超高齢社会	・超高齢社会の背景を理解している。 ・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や課題について理解を深めている。	・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考えている。 ・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考えている。	・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考えている。 ・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考えている。	・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。	
夏 休 期 休 業 中	ホームプロジェクト活動		・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。		・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。		
	9 1 2 月	2 学期	第6章 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える 2 食卓と栄養・食品 3 食生活の選択と安全 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎	・よりよい食習慣を身に付け、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解している。 ・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食中毒予防、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につけている。 ・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉えている。	・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考えている。		
第7章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を手りする 3 被服を管理する 4 これからの衣生活			・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解している。 ・被服表示を参考に目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解している。	・社会生活を営むうえでの被服の役割を理解し、用途に応じた着装を実践できる力を身につけることができる。 ・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の観点で自分の衣生活を見直す。			
第8章 住生活をつくる 1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵			・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支える生活拠点となる住居の機能やライフステージごとの住居を管理している。 ・自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解している。	・持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について課題を設定し、調査することができる。			
1 0 月	3 学期	第9章 経済生活をつくる 1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 これからの経済生活	・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解している。 ・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解している。 ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解している。 ・消費者には権利と責任があることを理解している。 ・消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解している。 ・生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解している。	・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について課題を見いだして課題を設定し、実践する力を身につけている。 ・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるかを考えて実践しようとする。			
		第10章 持続可能な生活をつくる 1 持続可能な社会を目指して		・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。	・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。		
		第11章 これからの生活を創造する 1 生活をデザインする		・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるように、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。	・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるように、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。		

教科・科目の目標

- (1)食品製造に必要な知識と技術を習得する。
- (2)加工食品の特性と加工の原理を理解する。
- (3)加工食品の品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

月	単元名・内容	時数	育成する資質・能力	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
					多面的に考察すること	適切に判断すること	関りを知る				
4	ジャムの製造 (イチゴジャム、マーマレード)	4		季節の果実であるイチゴ、甘夏を利用したジャムの製造法を理解する。	各品目における、原料と工程の違いを理解することができる。	実習における衛生管理の重要性に関して理解している。	食品製造の意義について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット
5	スイートロールの製造 農業鑑定	4		・スイートロールの製造法を理解する。 ・農業鑑定の学習。	各品目における、原料と工程の違いを理解して製造することができる。	実験・実習から小麦粉の成分と性状を考察することができる。	小麦粉を利用した品目の製造原理について考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット
6	みその製造	6		みその麹作りから仕込みまでの製造法を理解する。	各品目における、原料と工程の違いを理解して製造することができる。	計量及び成形を確実に行うことができる。	コウジカビなどの微生物の特性について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット
7	マドレーヌの製造 パウンドケーキの製造	4		・マドレーヌの製造法を理解する。 ・パウンドケーキの製造法を理解する。	各品目における、原料と工程の違いを理解して製造することができる。	計量及び成形を確実に行うことができる。	小麦粉を利用した品目の製造原理を考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット
9	小倉餡の製造 1肉まんの製造	6		・小倉餡の製造法を理解する。 ・肉まんの製造法を理解する。	各品目における、原料と工程の違いを理解して製造することができる。	計量及び成形を確実に行うことができる。	小倉餡・まんじゅうの製造原理を理解している。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット
10	豆腐の製造 農業祭販売準備	6		・豆腐の製造法を理解する。 ・農業祭での販売品の製造実習を行う。	各品目における、原料と工程の違いを理解して製造することができる。	計量及び成形を確実に行うことができる。	販売物の準備における衛生管理の大切さを理解している。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット
11	農業祭販売準備 農業祭準備	6		・農業祭での販売品の製造実習を行う。 ・農業祭での販売品の製造包装などを理解する。	各品目における、原料と工程の違いを理解して製造することができる。	計量及び成形を確実に行うことができる。	販売物の準備における衛生管理の大切さを理解している。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット
12	ヨーグルトの製造 ベルトラン法	4		・ヨーグルトの製造法を理解する。 ・還元等の実験方法を身に付ける。	原料と工程を理解して製造することができる。	計量及び成形を確実に行うことができる。	他の乳製品の製造工程と製品の違について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット
1	アイスクリームの製造 みそまんじゅうの製造	4		・アイスクリームの種類や法的定義製造工程を理解する。 ・みそまんじゅうについて学習します。	各品目における、原料と工程の違いを理解して製造することができる。	計量及び成形を確実に行うことができる。	加工品の製造原理を理解している。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット
2	ソーセージの製造	4		ソーセージ製造の一連の流れを理解する。	肉加工品の原料特性について理解している。	肉加工品の原料について理解している。	畜肉を利用した品目の製造原理について考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット
3	フィナンシェ製造 ソックスレー法	4		・フィナンシェの製造法を理解する。 ・粗脂肪の定量法を身に付ける。	各品目における、原料と工程の違いを理解して製造することができる。	加工品に用いる有機酸について考察することができる。	脂質の特性について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し主体的に取り組んでいる。	考查、ノート 実技試験 レポート	座学・実験実習	教科書 タブレット

教科 科目の目標

- (1) 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- (2) 食品製造に関する課題を発見し、農業や農産物産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 食品製造について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ共同的に取り組み姿勢を養う。

月	単元名・内容	時数	習得する資力・能力	知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
				多面的に考察すること	適切に判断すること	関わりを和らげること						
指導事項・評価基準												
4	果実類の加工 ・果実の成分と生理特性 ・果実の加工品	6	果実の特性と加工原理を理解している。	果実を栽培特性と形態で分類することができる。	糖酸比の計算が行える。	果実の成分を栄養学と関連させて考えることができる。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット		
5	果実類の加工(ジャム類) ・イチゴジャム製造 ・マーマレード製造	12	ジャムの製造工程と原理について理解している。 ジャムの製造実習の技術が身に付いている。	果実の加工品の特性について理解している。	ジャムの製造工程を理解し、製造することができる。	ジャム製造の原理と原料について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット		
6	果実類の加工 ・果汁飲料 ・シラップ漬け	12	果汁飲料の製造とシラップ漬けの製造工程と原理について理解している。	各果汁飲料の特性及び製造法について理解し、果実の特性と結びつけながら考察することができる。	果汁飲料とシラップ漬けの製造工程について理解している。	果汁の品質と糖酸比について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット		
7	果実類の加工 ・乾燥果実	6	乾燥果実の製造工程と原理について理解している。	乾燥果実の特性について理解し、果実の特性と結びつけながら考察することができる。	乾燥果実の製造工程について理解している。	乾燥果実の原理について科学的に考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット		
9	牛乳の加工 ・牛乳の成分と加工特性 ・牛乳の生産	9	牛乳の栄養成分と牛乳の加工品について理解している。 牛乳の製造工程を理解している。	牛乳の成分と各種乳製品の加工特性について理解している。	牛乳の検査の意義について理解している。	基礎的な牛の飼育及び牛乳の生産について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット		
10	牛乳の加工 ・発酵乳と乳酸菌飲料 ・チーズ	12	発酵乳と乳酸菌飲料について理解している。 チーズの種類と製造について理解している。 チーズの製造に用いる微生物について理解している。	牛乳の栄養成分と加工品の製造における特徴を結びつけながら考察することができる。	乳製品を製造する際の原料の役割や働きについて理解している。	各加工品に用いる微生物について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット		
11	農業祭準備	12	菓子の製造原理と工程について理解している。	各品目における、原料と工程の違いを理解して製造することができる。	製造工程や衛生管理の意義について理解している。	加工品の製造原理を理解して製造することができる。	レポートの記述が十分である。製造実習において、衛生管理の意義を理解し取り組むことができる。	小テスト 調査、ノート レポート	製造実習 商品の販売準備	教科書 タブレット		
12	牛乳の加工 ・アイスクリーム	9	アイスクリームの原料と製造工程について理解している。 アイスクリームの組織について理解している。	アイスクリームと他の乳製品の違いを成分や工程に注目しながら考察することができる。	アイスクリームの種類別のオーバーランの違いについて考察することができる。オーバーランの計算が行える。	アイスクリームの組織について科学的に考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット		
1	豆類・種実類の加工 ・豆類、種実類の特性とその加工品	6	豆類の栽培特性について理解している。 豆類の原料と製造工程について理解している。	豆の栽培特性と栄養成分について理解している。	豆類の種類と豆類について理解している。	豆類の製造工程について科学的に考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット		
2	肉類の加工 ・豚肉の加工	6	豚肉の飼育について理解している。 豚肉の加工について理解している。	豚の飼育と流通について理解している。	豚肉の部位と加工品について結びつけながら考察することができる。	豚肉の加工品を他の畜産の加工品と比較しながら考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット		
3	肉類の加工 ・豚肉の加工品	6	豚肉の加工品の原料と製造工程について理解している。	豚肉の加工品の種類を理解し、分類することができる。	豚肉の加工品と調味料について理解している。	各畜産の加工品を比較しながら考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット		

教科・科目の目標

- (1)食品化学に必要な知識と技術を習得する。
 (2)食品の分析方法と原理を理解する。
 (3)加工食品の品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

月	単元名・内容	時数	育成する資質・能力	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
					多面的に考察すること	適切に判断すること	関りを知ること				
指導事項・評価基準											
4	食品の成分(無機質)	4	無機質の特性や働きについて理解する	栄養成分(無機質)の特徴について知る。	栄養成分(無機質)の特徴について説明できる。	栄養成分(無機質)について興味を持ち、その概要を知る。	栄養成分(無機質)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験		教科書・ノート・タブレット
5	食品の成分(無機質)	4	無機質の特性や働きについて理解する	栄養成分(無機質)の特徴について知る。	栄養成分(無機質)の特徴について説明できる。	栄養成分(無機質)について興味を持ち、その概要を知る。	栄養成分(無機質)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験		教科書・ノート・タブレット
6	食品の成分(ビタミン)	6	ビタミンの特性や働きについて理解する	栄養成分(ビタミン)の特徴について知る。	栄養成分(ビタミン)の特徴について説明できる。	栄養成分(ビタミン)について興味を持ち、その概要を知る。	栄養成分(ビタミン)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	定期考査	座学・実験		教科書・ノート・タブレット
7	食品の成分(微量成分)	4	微量成分の特性や働きについて理解する	栄養成分(微量成分)の特徴について知る。	栄養成分(微量成分)の特徴について説明できる。	栄養成分(微量成分)について興味を持ち、その概要を知る。	栄養成分(微量成分)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験		教科書・ノート・タブレット
9	食品成分の消化と吸収	6	食品成分と体との関わりである代謝と栄養について理解する。	代謝と栄養の関係について知る。	代謝と栄養との関係性について説明できる。	代謝と栄養との関係性について興味を持ち、その概要を知る。	代謝と栄養の関係性について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験		教科書・ノート・タブレット
10	主な栄養素の代謝	6	主な栄養素の代謝メカニズムについて理解する。	代謝メカニズムについて知る。	代謝メカニズムについて説明できる。	代謝メカニズムについて興味を持ち、その概要を知る。	代謝メカニズムについて理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	定期考査	座学・実験		教科書・ノート・タブレット
11	食品の栄養的価値とその評価 食品の成分分析の意義	6	食品の栄養的価値を評価する方法について理解する。	定量分析の意義について知る。	定量分析の意義について説明できる。	定量分析について興味を持ち、その概要を知る。	栄養学と定量分析との関わりについて理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	定期考査	座学・実験		教科書・ノート・タブレット
12	試料の採取・調整・保存	4	試料の採取方法について理解する。	試料の採取方法について知る。	試料の採取方法について説明できる。		試料の採取方法について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験		教科書・ノート・タブレット
1	水分の定量	4	栄養成分(水分)の定量方法について理解する。	栄養成分(水分)の定量方法について知る。	栄養成分(水分)の定量方法の特徴について説明できる。	栄養成分(水分)の定量方法について興味を持ち、その概要を知る。	栄養成分(水分)の定量方法の手法について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験		教科書・ノート・タブレット
2	タンパク質の定量	4	栄養成分(タンパク質)の定量方法について理解する。	栄養成分(タンパク質)の定量方法について知る。	栄養成分(タンパク質)の定量方法の特徴について説明できる。	栄養成分(タンパク質)の定量方法について興味を持ち、その概要を知る。	栄養成分(タンパク質)の定量方法の手法について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	定期考査	座学・実験		教科書・ノート・タブレット
3	脂質の定量	4	栄養成分(脂質)の定量方法について理解する。	栄養成分(脂質)の定量方法について知る。	栄養成分(脂質)の定量方法の特徴について説明できる。	栄養成分(脂質)の定量方法について興味を持ち、その概要を知る。	栄養成分(脂質)の定量方法の手法について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験		教科書・ノート・タブレット

教科・科目の目標	
(1) 微生物とは何かを理解する。	
(2) 発酵食品の製造と微生物の役割を理解する。	
(3) 微生物実験の基本的な操作法を身に付ける。	

月	育成する資力・能力	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り込む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等	
			多面的に考察すること	適切に判断すること	関わりを知ること					
単元名・内容		時数	指導事項・評価基準							
4	1 人間生活と微生物 (1) 微生物を学ぶにあたって		微生物とは何か、特徴や微生物研究の歴史について理解する。	微生物の形態と生物の進化の過程を推察することが出来る。		生物の起源と進化に深いかわりがあることを知る。	授業に対する準備 授業ノートへの記述	小テスト、調査、ノート	微生物の特徴や微生物研究の歴史について学ぶ。	教科書
5	(2) 食生活と微生物		食品と微生物の関わりについて理解する。	食品に合わせた微生物の管理方法を推察することが出来る。			授業に対する準備 授業ノートへの記述	小テスト、調査、ノート	食品と微生物の関わりを学ぶ。	教科書
6	3 微生物の観察と取扱い (1) 微生物実験の基本		微生物に関する実験の基礎・基本について、一連の流れを理解する。		実験器具の用途を理解し、準備・殺菌が適切に出来る。	目的となる微生物により、実験の一連の流れ、事前準備の関連を知る。	授業に対する準備 授業ノートへの記述 実験レポートの記述・提出状況	小テスト、調査、ノート、実験レポート	微生物に関する実験の基礎・基本について、一連の流れを学ぶ。	教科書
7	3 微生物の観察と取扱い (2) 微生物の分離と培養 (3) 微生物の観察		微生物に関する実験の基礎・基本について、一連の流れを理解する。	実験結果に基づき、考察することが出来る。	実験結果を正確に表現することが出来る。	実験操作と実験結果の関連を知る。	授業に対する準備 授業ノートへの記述 実習レポートの記述・提出状況	小テスト、調査、ノート、実習レポート	微生物に関する実験の基礎・基本について、一連の流れを学ぶ。	教科書
9	3 微生物の種類と特徴 (1) 微生物の種類 カビ		かびの形態、増殖法、分類について理解する。			カビと食品製造の関係を知る。	授業に対する準備 授業ノートへの記述	小テスト、調査、ノート	かびの形態、増殖法、分類について学ぶ。	教科書
10	4 カビの分離と培養		カビの分離培養法について理解する。	実験結果に基づき、考察することが出来る。	実験結果を正確に表現することが出来る。	実験操作と実験結果の関連を知る。	授業に対する準備 授業ノートへの記述 実習レポートの記述・提出状況	小テスト、調査、ノート、実習レポート	カビの分離培養法を学ぶ。	教科書
11	酵母		酵母の形態、増殖法、分類について理解する。			酵母と食品製造の関係を知る。	授業に対する準備 授業ノートへの記述	小テスト、調査、ノート	酵母の形態、増殖法、分類について学ぶ。	教科書
12	5 酵母の分離と培養		酵母の分離培養法について理解する。	実験結果に基づき、考察することが出来る。	実験結果を正確に表現することが出来る。	実験操作と実験結果の関連を知る。	授業に対する準備 授業ノートへの記述 実習レポートの記述・提出状況	小テスト、調査、ノート、実習レポート	酵母の分離培養法について学ぶ。	教科書
1	細菌		細菌の形態、増殖法、分類について理解する。			細菌と食品製造の関係を知る。	授業に対する準備 授業ノートへの記述 実習レポートの記述・提出状況	小テスト、調査、ノート、実習レポート	細菌の形態、増殖法、分類について学ぶ。	教科書
2	(2) 微生物の生育環境 微生物の栄養		微生物の菌体成分と栄養要求について理解する。			培地の組成について知る。	授業に対する準備 授業ノートへの記述 実習レポートの記述・提出状況	小テスト、調査、ノート、実習レポート	微生物の菌体成分と栄養要求について学ぶ。	教科書 各種加工食品
3	微生物の生育と環境要因 微生物の増殖		微生物の生育に影響を与える因子について理解する。			実験時の微生物の繁殖状況と、培地の栄養成分やその他の条件とのかわりを知る。	授業に対する準備 授業ノートへの記述	小テスト、調査、ノート	微生物の生育に影響を与える因子について学ぶ。	教科書 各種加工食品

教科・科目の目標 (1)作物・野菜の栽培技術について幅広く学習する。 (2)地元で生産した安心・安全な農産物を原料として、加工につなげるための技術を習得する。 (3)全般的な土づくりを通して、各品目の品質向上に大きく影響することを理解する。			
--	--	--	--

月	単元名・内容	時数	育成する資質・能力	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
					多面的に考察すること	適切に判断すること	関りを知る				
					指導事項・評価基準						
4	野菜づくりの基礎			野菜づくりの基礎を理解する。	野菜づくりについて、現在の基礎を理解する。	野菜づくりに興味を持ち、その概要を知る。	野菜づくりに興味を持ち、その概要を知る。	専門教科に対して、進んで取り組むよう自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	品種の選定、農業資材、作付け、作型等について調べる。	
5	土づくり 肥料 病害虫			土づくり、肥料、病害虫について理解する。	土づくり、肥料、病害虫について、現在の基礎を理解する。	土づくり、肥料、病害虫に興味を持ち、その概要を知る。	土づくり、肥料、病害虫について、自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	酸性土、有機質肥料、連作障害等について調べる。		
6	イモ類の栽培			サツマイモの特性について理解する。	品種の選定、管理について理解する。	サツマイモの適切な栽培方法を判断する。	サツマイモの特性に興味を持ち、その概要を知る。	サツマイモの特性について、自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	定植、栽培管理等を行う。	サツマイモ
7	ジャガイモ			ジャガイモの特性について理解する。	品種の選定、管理について理解する。	ジャガイモの適切な栽培方法を判断する。	ジャガイモの特性に興味を持ち、その概要を知る。	ジャガイモの特性について、自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	定植、栽培管理等を行う。	ジャガイモ
9	マメ類の栽培 ダイズ			ダイズの特性について理解する。	品種の選定、管理について理解する。	ダイズの適切な栽培方法を判断する。	ダイズの特性に興味を持ち、その概要を知る。	ダイズの特性について、自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	圃場での成長の観察、病害虫の発生等を観察する。	ダイズ
10	アズキ			アズキの特性について理解する。	品種の選定、管理について理解する。	アズキの適切な栽培方法を判断する。	アズキの特性に興味を持ち、その概要を知る。	アズキの特性について、自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	圃場での成長の観察、病害虫の発生等を観察する。	アズキ
11	葉菜類の栽培 タマネギ			タマネギの特性について理解する。	品種の選定、管理について理解する。	タマネギの適切な栽培方法を判断する。	タマネギの特性に興味を持ち、その概要を知る。	タマネギの特性について、自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	圃場での成長の観察、病害虫の発生等を観察する。	タマネギ
12	ハクサイ			ハクサイの特性について理解する。	品種の選定、管理について理解する。	ハクサイの適切な栽培方法を判断する。	ハクサイの特性に興味を持ち、その概要を知る。	ハクサイの特性について、自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	圃場での成長の観察、病害虫の発生等を観察する。	ハクサイ
1	穀類の栽培 コムギ			コムギの特性について理解する。	品種の選定、管理について理解する。	コムギの適切な栽培方法を判断する。	コムギの特性に興味を持ち、その概要を知る。	コムギの特性について、自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	圃場での成長の観察、病害虫の発生等を観察する。	コムギ
2	イネ その他の穀類			イネの特性について理解する。	品種の選定、管理について理解する。	イネの適切な栽培方法を判断する。	イネの特性に興味を持ち、その概要を知る。	イネの特性について、自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	圃場での成長の観察、病害虫の発生等を観察する。	イネ
3	まとめ			各栽培物の学習内容を理解している。		各栽培物の得性に興味を持ち、その概要を知る。	各種の特性について、自らの学習を調整しようとしている。	①記述の点検 ②記述の分析 ③座学・実習時の態度	成長過程、収量の記録を集計し、まとめる。		

教科・科目の目標

- (1) 鶏肉の加工品についての知識と技術を習得する。
- (2) 発酵食品の製造に必要な知識と技術を習得する。
- (3) こんにゃくについての知識と加工技術を習得する。

E	育成する資質・能力		知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
	単元名・内容	時数		多面的に考察すること	適切に判断すること	関わりを知る				
	指導事項・評価基準									
4	畜産物の加工 鶏肉の加工	4	鶏肉の特徴と種類を理解する。 鶏肉の加工品について理解する。	鶏肉の種類について理解している。	鶏肉の飼育特性について様々な観点から考察することができる。	鶏肉の飼育特性について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット
5	発酵食品の製造 発酵食品とは	4	発酵食品の特徴について理解する。 微生物の役割について理解する。	発酵食品の種類について理解している。	発酵食品の特徴について理解している。	発酵食品に用いる微生物の役割について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット
6	発酵食品の製造 みそ・しょうゆの製造の基本	6	みそ・しょうゆの製造の特徴について理解する。 原料になる大豆や小麦の特性について理解する。	麹の種類について理解している。	みそ・しょうゆの製造の基本的な特徴について理解している。	原料の栽培特性について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット
7	発酵食品の製造 みその種類	4	みその原料について理解する。	麹の役割について理解している。	みその種類について理解している。	みその栄養価と機能性について考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット
9	発酵食品の製造 みその製造	6	みその製造工程について理解する。	製造する際の原料の変化について科学的に考察することができる。	みその各原料の製造工程の違いについて理解している。	みその製造に用いる微生物について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット
10	農産物製造準備	6	菓子類やケーキ類の製造ができる。	各品目における、原料と工程の違いを理解することができる。	製造工程や衛生管理の意義について理解している。	加工品の製造原理を理解して製造することができる。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット
11	発酵食品の製造 しょうゆの種類	6	しょうゆの原料について理解する。	しょうゆの生産と消費量について食文化の変化から考察することができる。	しょうゆの種類について理解している。	しょうゆの成分と栄養価について考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット
12	発酵食品の製造 しょうゆの製造	4	しょうゆの製造工程について理解する。	製造する際の原料の変化について科学的に考察することができる。	しょうゆの各原料の製造工程の違いについて理解している。	しょうゆの種類別の製造方法について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット
1	農産物の加工 いも類の加工	4	いも類の特徴について理解する。 いも類の基礎的な栽培について理解する。	いも類の栄養成分について理解している。	いも類の特徴と加工品について理解している。	いも類の栽培特性について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット
2	農産物の加工 いも類の加工品	4	いも類の加工品について理解する	いも類の加工品の消費量について食文化の変化から考察することができる。	いも類の加工品の製造工程について理解している。	いも類の加工品の製造における原料の化学的な変化について考察することができる。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット
3	農産物の加工品 こんにゃく	4	こんにゃくの製造原理と工程について理解する。	こんにゃくの製造工程について理解している。	こんにゃくの種類について理解している。	原料の栽培特性について理解している。	授業の準備、ノート及びレポートへの記述が十分にできている。製造実習において原料や工程を理解し積極的に取り組んでいる。	小テスト 調査、ノート レポート	教科書を活用したプリント学習 製造実習 タブレットを活用した調べ学習を行い、クラスで成果を共有する。	教科書 タブレット

教科・科目の目標

- (1)食品化学に必要な知識と技術を習得する。
- (2)食品の分析方法と原理を理解する。
- (3)加工食品の品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

月	単元名・内容	育成する資質・能力	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
				多面的に考察すること	適切に判断すること	関りを知ること				
指導事項・評価基準										
4	食品群別の成分と栄養(穀類)	4	食品成分(穀類)の特性や働きについて理解する	食品成分(穀類)の特徴について知る。	食品成分(穀類)の特徴について説明できる。	食品成分(穀類)の特性や働きについて興味を持ち、その概要を知る。	食品成分(穀類)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験	教科書・ノート・タブレット
5	食品群別の成分と栄養(いも類・豆類・野菜類)	4	食品成分(いも類・豆類・野菜類)の特性や働きについて理解する	食品成分(いも類・豆類・野菜類)の特徴について知る。	食品成分(いも類・豆類・野菜類)の特徴について説明できる。	食品成分(いも類・豆類・野菜類)の特性や働きについて興味を持ち、その概要を知る。	食品成分(いも類・豆類・野菜類)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験	教科書・ノート・タブレット
6	食品群別の成分と栄養(果実類・種実類)	6	食品成分(果実類・種実類)の特性や働きについて理解する	食品成分(果実類・種実類)の特徴について知る。	食品成分(果実類・種実類)の特徴について説明できる。	食品成分(果実類・種実類)の特性や働きについて興味を持ち、その概要を知る。	食品成分(果実類・種実類)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	定期考査	座学・実験	教科書・ノート・タブレット
7	食品群別の成分と栄養(きのこ・海藻類)	4	食品成分(きのこ・海藻類)の特性や働きについて理解する	食品成分(きのこ・海藻類)の特徴について知る。	食品成分(きのこ・海藻類)の特徴について説明できる。	食品成分(きのこ・海藻類)の特性や働きについて興味を持ち、その概要を知る。	食品成分(きのこ・海藻類)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験	教科書・ノート・タブレット
9	食品群別の成分と栄養(獣鳥肉類・油脂類)	6	食品成分(獣鳥肉類・油脂類)の特性や働きについて理解する	食品成分(獣鳥肉類・油脂類)の特徴について知る。	食品成分(獣鳥肉類・油脂類)の特徴について説明できる。	食品成分(獣鳥肉類・油脂類)の特性や働きについて興味を持ち、その概要を知る。	食品成分(獣鳥肉類・油脂類)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験	教科書・ノート・タブレット
10	文化祭製造準備	6	学校行事での販売実習に必要なことについて理解する	販売実習の目的について知る。		販売実習について興味を持ち、その概要を知る。	販売実習について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	定期考査	座学・実験	教科書・ノート・タブレット
11	食品群別の成分と栄養(菓子類)	6	食品成分(菓子類)の特性や働きについて理解する	食品成分(菓子類)の特徴について知る。	食品成分(菓子類)の特徴について説明できる。	食品成分(菓子類)の特性や働きについて興味を持ち、その概要を知る。	食品成分(菓子類)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	定期考査	座学・実験	教科書・ノート・タブレット
12	食品群別の成分と栄養(嗜好飲料類)	4	食品成分(嗜好飲料類)の特性や働きについて理解する	食品成分(嗜好飲料類)の特徴について知る。	食品成分(嗜好飲料類)の特徴について説明できる。	食品成分(嗜好飲料類)の特性や働きについて興味を持ち、その概要を知る。	食品成分(嗜好飲料類)の特徴について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験	教科書・ノート・タブレット
1	栄養成分分析(吸光の法則)	4	栄養成分(吸光)の定量方法について理解する。	吸光の定量方法について知る。	吸光の定量方法の特徴について説明できる。	吸光の定量方法について興味を持ち、その概要を知る。	吸光の定量方法の手法について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験	教科書・ノート・タブレット
2	栄養成分分析(吸光光度分析法)	4	吸光光度分析法の定量方法について理解する。	吸光光度分析法の定量方法について知る。	吸光光度分析法の定量方法の特徴について説明できる。	吸光光度分析法の定量方法について興味を持ち、その概要を知る。	吸光光度分析法の定量方法の手法について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	定期考査	座学・実験	教科書・ノート・タブレット
3	栄養成分分析(吸光光度分析法)	4	吸光光度分析法の定量方法について理解する。	吸光光度分析法の定量方法について知る。	吸光光度分析法の定量方法の特徴について説明できる。	吸光光度分析法の定量方法について興味を持ち、その概要を知る。	吸光光度分析法の定量方法の手法について理解を深め、自ら学習に対して創意工夫している。	小テスト・実技テスト・ノート	座学・実験	教科書・ノート・タブレット